

図書館の各イベント詳細につきましては、
市報・館内掲示ポスター・市ホームページをご覧ください。

■戸倉図書館■ ★新春古書市

図書館の除籍図書・不要な図書をお譲りします

日時 1月7日(土)～1月9日(月) 午前9時30分～午後6時

会場 戸倉創造館ロビー

- ・1人10冊程度、持ち帰ることができます。
- ・家庭で不要となった本をお持ちください。必要な人にお譲りします(百科事典や美術・文学全集、汚れている、壊れている本の持ち込みはできません)。

問い合わせ先 戸倉図書館(276-7001)



■更埴西図書館■ ★クリスマスおはなし会

12/11(日曜日)クリスマスおはなし会を行いました。今年はい更埴西中学校のご協力により、音楽室をお借りして広～い会場でおこないました。読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居、そして葛(くず)・サツマイモのつるなどの自然の素材でリース作りを楽しみました!



★初版本の楽しみ 日本近代文学館の『名著復刻近代文学館/漱石文学館』が入りました。

初版本とは言葉の通り、最初に発行された「最初の版の本」です。

日本の書物は、明治時代に入ってから和装本から洋装本へ、製版印刷から活版印刷へと大きく変化を遂げました。こうした変化の流れを受け入れながら、日本の近代文学作品は個性豊かな装丁で刊行されました。夏目漱石の「吾輩は猫である」の初版本はアンカット(ページを自分で切りながら読む)本です。漱石は留学先で一冊一冊手作業製本された本を見ており、自分で本を出すなら美しい装丁の本にしたいという希望があったようで、版元や装丁者と綿密な打ち合わせをしていたそうです。

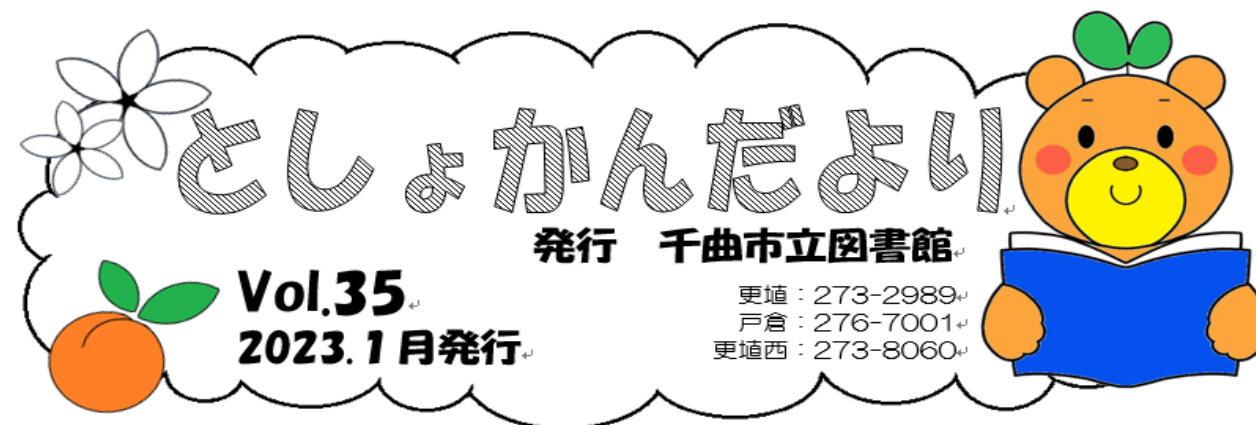
残念ながら本物の初版本は非常に貴重で、なかなか目にすることはできませんが、このたび更埴西図書館で貸出しできるようになった、日本近代文学館の『名著復刻近代文学館/漱石文学館』シリーズは、初版本の装丁を忠実に再現しています。時代の息吹を感じながら、また作者の思い溢れる初版の装丁で、名作をお楽しみください。

おしえてちっくまくん!



Q. 「利用カードを忘れたら、本は借りられないの～?」

ちっくま A. 大丈夫!カウンターで貸出し申込書を書いてね。わすれちゃった～の3回までは、借りられるよ。でも、できるだけ忘れないでね。また、カードが無くなっちゃった時は、手数料100円で再発行してもらえけど、見つからない時は、よ～く探してね。



3年ぶり

更埴図書館まつり開催!!

令和4年10月29日(土)に、更埴図書館と信州の幸(めぐみ)あんずホールにおきまして、令和元年の台風水害以来3年ぶりとなる図書館まつりを開催しました。古書市や図書館職員によるおはなし会、工作教室や通年講座の発表会の他、新たな試みとして協働電子図書館「デジとしょ信州」の利用説明会も行いました。3年ぶりの開催ということもあり、おおぜいの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。今回のイベントを通じて、皆様に市立図書館を身近に感じていただき、より一層読書を楽しんでいただければ幸いです。



■貸出2倍デー■ 12/11(日)～1/9(月)

貸出し2倍デーを実施します。通常1人10冊までですが、この期間は20冊まで借りられます。ぜひご利用ください。



デジとしょ信州

長野県内の市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」は、電子書籍を365日、24時間ご利用いただける、全県規模の電子図書館です。

ご利用いただくには、お住いの自治体の図書館で登録していただく必要があります。お近くの市内図書館までお問い合わせください。

